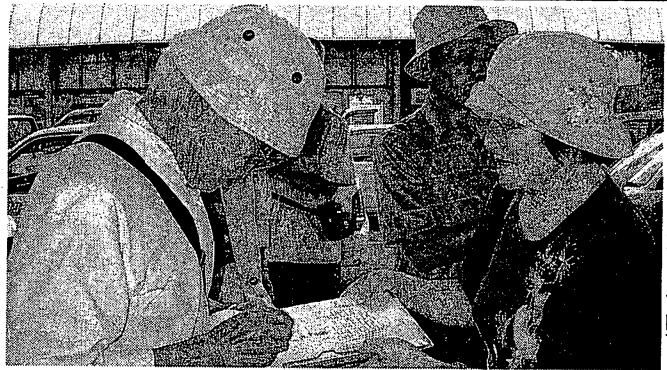


宮崎 シーガイア支援基金県費返還訴訟 税金のムダ遣い許さない 会が公正な判決求め署名

宮崎市の大型リゾート施設「シーガイア」への支援を主な目的とする基金に宮崎県が六十億円の県税を投入したのは違法であるとして、六十億円の県への返還を求めている「シーガイア支援基金」の住民訴訟をすすめる会(すすめる会)は二十日、「シーガイア支援基金」裁判における公正な判決を求める署名活動を宮崎市橋通りで行いました。



「60億もむせ」と署名する市民
20日、宮崎市

十三人が参加し、午後四時半から一時間の行動で、七十一人分の署名が寄せられました。ある五十代の男性は、自らすすめる会の人たちに近づき「税金のムダ遣いは、本当に許せない」と言いながら署名していました。

すすめる会の小野節子さん(左)は「県民の税金をムダ遣いさせてはならないとの世論を、もっと

広げていきたい。この運動は、私たちが県政に参加するいいチャンスなんです」と強い口調で話していました。そして、道行く人たちに熱心にビラを配り、署名への協力を呼びかけていました。

裁宮崎支部に提出するにとにしています。シーガイア支援基金県費返還住民訴訟で、宮崎地裁は二〇〇三年三月、原告住民の訴えを棄却する不当判決を言い渡しました。これに対し、原告住民は、ただちに控訴。現在、福岡高裁宮崎支部でたたかわれています。判決は、九月末から年内に言い渡される見通しです。

シーガイアへの60億円県費返還訴訟

宮崎 高裁支部に署名提出

すすめる会公正判決求めて

宮崎市の大型リゾート施設「シーガイア」への支援を主な目的とする基金に宮崎県が六十億円の県税を投入したのは違法であるとして、六十億円の県への返還を求めている「シーガイア支援基金」の住民訴訟をすすめる会（代表＝後藤好成弁護士）のメンバー六人は二十七日、「シーガイア支援基金」裁判における公正な判決を求める署名を福岡高裁宮崎支部に提

出しました。今回提出された署名は「お預かりした署名は、第一分で二十八団裁判長へ届けます」との体、三千三十八人分の署名です。対応した裁判所職員は「お預かりした署名は、裁判長へ届けます」との署名提出者代表で、同

住民訴訟原告団代表の菅谷幸則さん（左）は「私たちの貴重な税金六十億円を戻せとの世論を広げるために、これまで繰り返し街頭宣伝や署名活動や地域の学習会などを行ってきた。こうした活動を今後も押し進め、六十億円戻せの世論をさらに広げていきたい」と決意をのべています。シーガイア支援基金県



福岡高裁宮崎支部に署名を提出する人たち＝27日、宮崎市

費返還住民訴訟で、宮崎民は、ただちに控訴。現地在、福岡高裁宮崎支部で原告住民の訴えを棄却すたかわれています。判決は九月末から年内に言した。これに対し、原告住い渡される見通しです。